

旭 農

PTA ニュース

編集 発行

北海道旭川農業高等学校 PTA 事務局

2021年3月1日
(令和2年度)
No.137

卒業を祝して

PTA 会長 中野渡 仁



本日卒業を迎えられた卒業生、先生、おめでとうございます。また、今日までたくさんの愛情を注ぎ、お子様の成長を支えて来られた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。又、三年間の PTA 活動に対しご理解とご協力を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。そして校長先生をはじめ各先生方におかれましては、生徒一人ひとりを三年間温かくご指導頂きましたこと、加えて学校内における新型コロナウイルスの感染対策に尽力して頂き、保護者を代表して心よりお礼申し上げます。

昨年度末より新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今までの生活スタイルとは一変し活動が限られた中での学校生活となりました。三年生にとっては高校生活の集大成として最後の一年がスタートしました。が、年度当初から休校に始まり、最後の高体連そして学校祭の中止と学校としても苦渋の決断でありました。が、不完全燃焼な感じだったのでないかと私も一人の親として残念な気持ちでした。

それでも、旭川農業高校から感染者が一人も出ていないのは、先生方の対応にも感謝するとともに、生徒一人ひとりの感染予防への賜物だと思っています。

日常ではマスクをつけた生活となり相手の表情も分かりづらく、会ったり話したりする機会も減った中でも、相手に対する気持ちは今まで以上に持っていたのではないかと思います。その想いは今まで当たり前にあった時には、それほど感じなかった事でしたが、この先コロナが終息しても、皆さんには、この「相手」を思いやる「気持ち」をずっと持ち続けていくって欲しいと願っております。

そして、行動が制限される状況下において、出来ない事に注目するのではなく、「自分に何が出来るのだろうか?」と困難な事にも前向きに立ち向かっていくようになって欲しいと思います。まだまだ先の見えない未来ですが、この一年経験した事や感じた事は皆さんにとって、きっとプラスになると信じております。

保護者の皆様におかれましては生活が一変し、不安でいっぱいだったと思いますが、家庭での感染予防のおかげで生徒の感染者が出なかった事は私も一人の親として全世帯の皆様にも感謝の気持ちです。お子様が無事に卒業を迎えることができた安堵と嬉しさでいっぱいだと思います。卒業後は進学や就職、新しい世界へ旅立っていきましても、いつまでもエールを送り続け見守って頂きたいと思っております。最後に卒業生の皆さんの前途が充実した素敵なものになることを心から願っております。

ら願っております。
ご卒業おめでとうございました。

三月 旅立ちと
新しい出会いに向けて

校長 田村 弘樹



三月の声を聞くのも待ち遠しかったです。また春の到来を感じるのは少し早いようです。しかし学校では「旅立ち」の支度が着々と進められています。「卒業」、「進級」、「異動」など内容は少し違っていますが、共通して言えることは「別れ」の後に「新たな出会い」が待っています。私たちはこの繰り返しによって、心豊かに成長していくものだと思えます。三月一日、三年生一六一名が本校を旅立ちます。これまで保護者の皆さまには本校の教育に多大なる御理解、御支援、御協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。また地域の皆さまには、各プロジェクト連携、交流学習、インターンシップ、視察、現地実習等で御協力をいただきました。社会に出る前に、五感をとおして貴重な学び・現実体験の機会をいただいたことは、知識・技能に加え生徒たちの人格形成に多くの刺激を与えていただくことができたと思います。

きました。重ねて感謝申し上げます。昨年来の新型コロナウイルス感染症の流行は、学校生活のさまざまな領域で制限が掛かり、当たり前だった日常の有限性やパラダイムシフトの必要性を改めて認識する一年になりました。予防対策を最優先にした学校生活は、生徒たちに多くの我慢や忍耐を強いることにもなりました。自然や命を学ぶ旭農生は、制約のある日々が続くなかでも自分の課題として、勉強はもちろん部活動やプロジェクト・農業クラブ活動、自分の興味や関心のあることなど、できた時間を有効に使うチャレンジしてくれました。また、今年は昨年と比べ厳しい就職戦線となりましたが、生徒たちは最後まで努力し目標実現を果たす取り組みは、一、二年生の良い模範と励みになりました。旭農は創立九十八年を迎えます。一世紀の歴史の中で紡がれてきた校訓「誠実・勤労・剛健」のもと相互に切磋琢磨し、生徒たちの希望に満ちた未来に向け一歩ずつ誠実に取り組んでまいります。今後とも本校教育の推進にあたり、より一層の御理解と御協力をお願いいたします。

卒業に寄せて

農業科学科

木下 政哉

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、おめでとうございます。今日の日を迎えられたことをお祝い申し上げます。そして、校長先生をはじめ先生方におかれましては、子供たちをここまで暖かく、時に厳しく愛情を持って導き指導して下さいましたこと、心より御礼申し上げます。卒業生の皆さんは、人生の中でひと握りの三年間は旭川農業高校で過ごしたわけですが、こうして立派に成長することができました。勉強や部活動、生徒会活動等を通して達成感、挫折感、もどかしさや難しさなど色々な感情を味わったと思います。それでも一生懸命学び、考えながら過ごした三年間は何事にも代えがたい宝物だと思います。その宝物は今後、皆さんが大人になる為の大切な糧となるでしょう。十八年間生きてきた皆さんは、これからその何倍もの時間を大人として生きていきます。その長き人生の中で仕事や人間関係、その他にも色々なことと接けようになることもあると思います。そんな時、この三年間を思い出して下さい。先生方や友達、両親などみんなが皆さんの成長の為、笑顔の為に共に笑い、共に悩み、どんな時も共に時間をすごしてくれたことを。その三年間を忘れずにいれば必ず困難を乗り越えられるはずです。旭川農業高校の卒業生だという誇りを誇りに、これからの人生、最後に、担任の相馬先生、元気な子供たちを見捨てず、三年間お付き合いして下さい。感謝しております。ありがとうございます。

食品科学科

長縄 香

卒業生の皆さん保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。時が経つのは本当に早いもので、このあいだ入学したと思っていたらあっという間に三年経ってしまいました。皆さんにとっては充実した学校生活だったことでしょう。しかし昨年から新型コロナウイルスの影響で、校内行事や部活動等が次々と中止になりましたが、少なくなった校内行事を生徒達が知恵を凝らし、全力で楽しみ、取り組む姿に感動しました。このような経験は皆さんの青春の一ページに刻まれることだと思います。また先輩方から受け継いだ商品開発の実現により新聞、テレビ等多くのメディアに紹介していただいていた皆さんの人を知っていた事で、ことができました。これもひとえに先生方

や関係者の方々のご尽力のたまものと存じます。

そして娘が毎日楽しく充実した高校生活を過ごしていたと日々感じておりました。ご指導、ご鞭撻、ご協力、一緒に過ごしてくださった先生方、お友達、先輩後輩、学校関係者の皆様に本当に感謝しております。

私も三年間、学級代議員をさせていただきまして、学校行事などに携わる事が出来ましたが普通ではできない肉加工や中華まん製作などの経験もする事ができ、多くの方々と出会え楽しく過ごす事ができました。本当にありがとうございました。

最後に卒業生の皆さん旭川農業高校で学んだ事を心の糧に彩り豊かな人生を送ってくださる事を心から願っております。

森林科学科

中坪由美子

三年生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ついこの間、入学したと思っていました。が、あつという間の三年間で

中学時代に、突然娘が農業高校に進学したいと言いつつ、専門学科であることや、自宅からの距離もある中、本当に三年間通い続けることができるのか心配し、すぐに賛成はできませんでしたが、しかし、もともと自然が好きで、物を作り上げることに興味を持っており、森林科学科で自分の好きなことを生かしながら学びたいという娘の熱い思いを知り、応援しようと決めました。無事に入学が決まり、自然の動向や、森林の種類、測定の技術、器械の取り扱いなど森林科学科ならではのことを、授業や実習を通して、たくさん学ばせていただきました。高校生にしてこのような知識・技術を持っている娘を誇りに思っています。

三年生となり、コロナウィルスの影響で休校となったり、学校祭をはじめ様々な行事が中止、縮小となつてしまい、最後の高校生活に不安や

悔いの残ることがあったかもしれない。しかし、このような体験があったからこそ、制限された生活の中でも楽しむことや工夫しながら生活することを身に着けることができたのではないかと思います。

四月からは就職・進学と様々な道に進みますが、農業高校で学んだことに自信を持ち、新たな人生を歩んでほしいと思います。この先、多くの困難に立ち向かうことがあっても、実・勤労・剛健を思い出し、乗り越えていってほしいです。

最後になりましたが、校長先生を始め諸先生方、担任の須山先生には三年間ご指導をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。この先も旭川農業高校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

生活科学科

小野寺倫江

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様が立派に成長され、卒業を迎えられました事を心よりお祝い申し上げます。そして、校長先生をはじめ、先生方におかれましては、生徒たちを、ここまで温かく、時に厳しく、根気よく導いてくださいました事を、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、三年生の皆さんは、旭川農業高校で過ごした三年間で立派に成長することができました。

三年間の高校生活。楽しいことばかりではなかったと思います。部活動で仲間と共に厳しい練習を乗り越え、思っていた結果を得られた時もあれば、そうでない時もあったでしょう。人間関係に悩んだり、頑張っているのに結果が出なかったり、目標を見失ってしまったり、どうしたらいいのかわからなくなったりした時もあったかもしれませんが、それでも、皆さんは前へ前へと歩みを進め、卒業を迎えることができました。

ました。この日を迎えることができたのは、皆さん自身の力が大きいのはもちろんですが、それだけでなく、皆さんを信じ、励まし、支えてくれた家族・先生・友達・仲間がいたからではないかと思えます。

毎日おいしいご飯が食べられること、失敗した時に励ましてくれること、頑張った時に認めてもらえること、楽しい時には一緒に笑えること。当たり前の日々は、皆さんの人に支えられています。

私は、幸せな人生を歩むためには「感謝の心」が大切だと思っています。どんな時でもあなたのことを大切に思い、信じ、支えてくれる人がいるという当たり前に感謝をすることが、そして、大切な人への言葉や行動で感謝の気持ちを伝えることが、幸せで笑顔があふれる人生につながっていくと思います。

普段、改めて感謝の気持ちを伝えることはあまりないと思います。この卒業という人生の節目こそがチャンスです。どうか、ご家族・先生方・友達・仲間はもちろん、これまでの人生で出会ってきたすべての方々に対して「ありがとう」と、感謝する心をもち、言葉や行動にして伝えてください。

皆さんの家族・旭川農業高校のすべての先生方は、これからずっと、皆さんの幸せを心から願い、応援しています。

一年を振り返って

一学年主任

高野 敦也

一学年保護者の皆様、改めて一学年森林科学科担任で学年主任の高野敦也と申します。昨年度、本校に赴任し今年度で二年目になります。一学年が入学してから、間もなく一年が過ぎようとしています。私自身、この一年間を振り返ってみると、今年度は例年よりも時間の経過

が早く感じられました。理由の一つは、入学後、間もなくして生徒は自宅学習をしなければならず、その後は一日おきの登校になった関係で、学級担任としては毎週、保護者宛文書や学級通信の作成、送付など、今までの教員生活とは全く異なる時間を過ごし、時間に追われたということ。もうひとつは私自身、学級担任は約十二年ぶりであったため、新鮮な気持ちで毎日の時間を過ごしてきたからだと思っています。

今年度、学校祭が中止になりました。学校祭はクラス対抗のダンスパフォーマンスや模擬店、農産物販売など全校生徒が地域社会とふれ合うことが出来る唯一の行事です。また生徒自身はもちろん、仲間の長所、短所を理解することが出来る最高の行事です。学校祭が中止になったことは、学年団としても非常に残念でした。幸い収穫感謝祭と体育祭は実施され、クラス一丸となることのできる有意義な時間を過ごすことが出来ました。

現在心配なことは来年度の行事も中止になる恐れがあるということです。特に見学旅行の実施が可能です。うかが非常に気がかりです。すでに見学旅行の旅程については生徒に細かく伝えております。そして生徒は今から楽しみにしている様子です。見学旅行が予定通り実施出来るよう今から祈るばかりです。

一学年は卒業までにあと二年間の高校生活があります。しかし実際には今後、卒業後の進路に向けた具体的な話や行事が今後どんどん多くなります。私は高校生活三年間のうち、一学年はホップ、二年生はステップ、三年生はジャンプの学年だと思っています。もしホップでつまづいたとしてもステップで修正し、そして見事なジャンプが出来るように願っています。そのためには生徒自身の努力はもちろんですが、私たち教職員、そして保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠になってきます。今後も学校から多くの保護者宛文書が配布されます。情報共有が非常に大

事だと考えております。よろしくお願ひします。また、各教科の定期試験や小テストなどもありますので、その結果にも目を通していただけるようお願いいたします。

一学年主任

大村 竜二

令和二年度も終わりが近づいてきました。この一年間、保護者の皆さんにおかれましては学年の諸活動に對してご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。休校が明けて新年度がスタートした矢先、二週間後には再度の休校となつてしまいました。分散登校を経て再スタートを切りましたが、多くの行事や部活動、農業クラブの大会が中止となり、学校生活でも様々な制限を余儀なくされました。

夏休み明けからは校外での学習や実習も少しずつ再開され、森林科学科と生活科学科では、受入先企業との協力のもと、三日間のインターンシップを実施することができました。実際に就業現場で学習することで、多くのことを学び、進路に対して考える貴重な機会となりました。一方、実習先の企業の方からは、返事や挨拶など、コミュニケーションの部分に不足していたという評価も多かった。今後の進路活動に向けての課題が見えてきました。

収穫感謝祭や体育祭では生徒の主体的な行動が印象に残っています。去年の経験を活かし、どのように準備をして、当日どう動けば良いか、生徒一人一人が考えて行動できた結果だと思えます。このようなところからも、一年間の成長の跡が見られました。

冬休みからは三者面談を実施しています。学校生活の様子をお伝えしたり、進路に向けて意見交換を行う



三年生ならびに保護者の皆さま
ご卒業おめでとうございます。新生
活が充実した素晴らしいものとなり
ますよう、心からお祈り申し上げます。

三年生は、二月一日現在で就職内
定率九八・七％、進学決定率一〇〇
％、全体での進路決定率は九九・四
％に達しています。例年と変わらず
大半の生徒が進路実現を果たしてい
ます。

民間就職ではコロナ禍で求人数は
昨年よりも落ち込み、特に販売職や

進路指導部長 高澤 崇

してこの一年取り組んでまいりました。「想像力（考える力）を豊かにし、自律心を持つて」立派な社会人になつていける事を願っています。

今年度はコロナの影響で、例年とは違う学校生活となつてしまいました。三年生が一番楽しみにしていた学校祭が中止となつた事は非常に残念でした。しかし、最後の高校生活を

を思い出に残るものにしたとブラ
ス思考で行動し、友情を深めている
生徒達の姿をみてうれしさと「成長」
を感じた一年でもありました。

最後になりましたが、保護者の皆
様にはこれまでの三年間、多くのご
支援ご協力をいただきましたこと、学校
の教育活動にご理解いただいたこと
に心から感謝申し上げます。

接客サービス職の求人数の減少が目立ちました。求人数が減少したことで例年より厳しい就職戦線となり、結果的には内定率も下がりました。しかしそんな状況の中でも三年生は早くから高い意識をもって就職活動に取り組む生徒が多く、夏季休業中も登校し履歴書作成や面接練習に励む姿が多く見られました。学校紹介に応募した生徒四六名のうち三八名の生徒が就職内定となり内定率八二・六％と厳しい状況の中でも健闘

令和3年2月1日現在

種 類		農業科学	食品科学	森林科学	生活科学	総計
就 職	公 務 員	6	3	16	1	26
	就職（市内・近郊）	14	12	10	11	47
	就職（道内・道外）	1	2	0	0	3
進 学	大 学	5	6	1	4	16
	短 大	1	3	1	7	12
	専 門	12	13	10	16	51
その他・未定		2	1	2	1	6
総 計		41	40	40	40	161

したといえます。

公務員に關しては、ここ数年希望者が増加しており、今年度も多く生徒が公務員採用試験を受験しました。進路指導部や学科で例年行っている公務員対策講習も新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業のため当初の予定よりも開講時期がずれてしまいましたが日程を変更して実施することができました。そして講習するには多くの生徒が受講しました。その成果が現れ、国家公務員（林業）・北海道職員（農業・林業・警察行政）・北海道警察・上川町村会等延べ四一名が合格しました。公務員合格者は過去五年間で最も多く、公務員希望者の人数は今後も増加傾向になると予想されますので進路指導部としても指導内容を強化していき

と考えています。

進学では推薦、AOを中心に七九名が合格しました。今年度は四年制大学の合格者が一五名と例年よりも多くなりました。不合格者も少なく、就職（民間・公務員）に比べると順調に進んだという印象です。

このように就職（民間・公務員）・進学との分野においても今年度の三年生がよい結果を残したことがうかかれます。

最後になりますが、今年度の三年生はコロナ禍で思うような進路活動ができなかった生徒も多かったと思います。しかしそんな中でも合格や内定を勝ち取りました。将来、社会に出たときにコロナ禍に進路活動を頑張るそして乗り切った世代として活躍することを願っています。

- | | |
|--|---|
| <p>◎野球部</p> <p>令和2年度夏季北海道高等学校野球大会旭川大会</p> <p>1回戦 対 羽幌 6対7</p> <p>◎第73回秋季北海道高等学校野球大会旭川支部予選</p> <p>2回戦 対 旭川高専 5対2</p> <p>3回戦 対 旭川西 0対8</p> <p>◆サッカーク部</p> <p>◎高円宮杯JFA U-18サッカー2020北海道道北ブロックリーグ3部</p> <p>旭川龍谷 10対4</p> <p>旭川工業 10対1</p> <p>旭川東 0対9</p> <p>旭川商業 10対1</p> <p>0対4</p> <p>0対4</p> <p>2対0</p> <p>◎令和2年度旭川地区高等学校サッカー大会兼高体連代替大会</p> <p>1回戦 対 旭川高専 2対1</p> <p>2回戦 対 旭川実業 2対8</p> <p>◎2020年度第96回全国高校サッカー選手権大会北海道旭川地区予選</p> <p>1回戦 対 旭川高専 P K 8対7</p> <p>2回戦 対 旭川商業 P K 8対7</p> <p>◎令和3年度第32回全道ユースフットサル選手権大会予選旭川地区大会</p> <p>1回戦 対 留萌 1対16</p> <p>敗者戦 対 富良野 3対1</p> <p>◆男子バスケットボール部</p> <p>◎令和2年度 U-18代替試合旭川カブズ1回戦 対 旭川明成 53対51</p> <p>2回戦 対 旭川工業 28対37</p> <p>敗者戦 対 旭川西 37対130</p> <p>◎令和2年度北海道高等学校バスケケットボール選手権大会旭川地区予選会</p> <p>1回戦 対 旭川川永嶺 37対37</p> | <p>◎第33回旭川道高等学校バスケケットボール選手権大会旭川地区予選会</p> <p>1回戦 対 富良野 61対94</p> <p>◆女子バスケットボール部</p> <p>◎令和2年度U-18旭川カブズ1回戦 対 旭川明成 31対136</p> <p>敗者リーグ 対 旭川北 47対55</p> <p>対 旭川実業 45対49</p> <p>◎令和2年度北海道高等学校バスケケットボール選手権大会旭川地区予選会</p> <p>1回戦 対 旭川永嶺 35対47</p> <p>2回戦 対 旭川南 58対47</p> <p>◎第33回北海道高等学校バスケケットボール新人大会旭川地区予選会</p> <p>1回戦 対 旭川西 63対57</p> <p>2回戦 対 旭川南 45対57</p> <p>◆女子バレー部</p> <p>◎旭川バレーボール協会理事長杯(令和2年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会旭川支部予選会)</p> <p>予選グループ戦 0勝2敗</p> <p>対 旭川龍谷 0対2</p> <p>決勝トーナメント戦 0勝1敗</p> <p>対 旭川北 0対2</p> <p>敗者戦 0勝1敗</p> <p>◎第16回北海道バレーボール新人大会旭川地区予選会</p> <p>予選トーナメント戦 0勝1敗</p> <p>対 旭川商業 0対2</p> <p>◆ソフトテニス部</p> <p>◎第50回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会旭川支部予選会</p> <p>ダブルス 男子 山本(2F) 併合(2F) 0対4</p> <p>対 旭川工業 1回戦敗退</p> |
|--|---|

